

# 泉佐野市行政評価外部評価委員会資料編

平成 22 年 8 月

泉佐野市

## 外部評価の対象事業の抽出について

施策体系は、63 施策に分かれており、外部評価委員会ですべてを評価することは物理的に困難であり、外部評価委員会を立ち上げている各自治体においても抽出により評価を実施しているのが、現状であります。その抽出方法について考えます。

現在予算上は、4 回の外部評価委員会を予定していますが、最初は、外部評価委員会の委嘱式、泉佐野市の行政評価の経緯、抽出方法などを審議。最後の 4 回目は外部評価のまとめ。実際に原課とのヒアリングを行えるのは 2 回目と 3 回目の 2 回だけとなります。

外部評価委員会の回数については、他市の状況では 4～6 回となっています。大阪府内では、大阪市が 6 回（委員数 6 名）、高槻市 5 回（委員数 6 名）、柏原市 4 回（委員数 10 名）、交野市 5 回（委員数 7 名）、泉大津市 4 回（委員数 5 名）となっています。

市の状況及び他市の状況は以上ですが、以下対象事業の選択をどうするかについて例示いたします。

例 1) 63 施策を全て実施する方法。

例 2) 63 施策を 3 年ローリングで実施する方法。その場合各年 21 施策を実施。各 6 章から 3～4 施策を抽出。

例 3) 63 施策を 3 年ローリングで実施する方法。その場合各年 21 施策を実施。各 6 章から 3～4 施策を抽出。2 班体制に分かれてヒアリング等を実施。

例 4) 政策は 6 章に分かれ、その下に施策体系が設置されています。各章から 1 施策抽出し、計 6 施策について評価を行います。施策評価で B 評価以外を対象として抽出し、評価を実施。

例 5) 3 年ないし 5 年のスパンで外部評価を実施する方法。